

鉄砲洲神社詩吟 素読論語解説

(平成 25 年 10 月 4 日)

【一四】冉子 朝より退く。子曰く、何ぞ晏きやと。対えて曰く、政有りきと。子曰く、其れ事ならん。如し 政有らば、吾を以いずと雖も、吾 其れ之を与り聞かんと。

孔子が 68 歳の頃、冉有が 39 歳ぐらいです。冉有が朝早く行われる会議から帰って来ました。そうすると孔子が「何で遅く帰って来たのか」と聞いたところ、冉有が「政治のための会合がありました。それで遅くなりました」と答えました。何か問題があったのでしょうか。それに対して孔子は一言「其れ事ならん」お前が言うことは、ちょっとおかしいのではないか、政治上の問題だということだけれど、もしも国家で会議をしなければならぬような大きな問題であれば、私は今引退をしているけれども必ず私も呼ばれるであろう。言い方を変えれば、冉有が仕えている魯の国の国家的な問題ではなくて、季氏の中で起きている問題にお前は呼ばれたのだろう。季氏の中での私的な問題で、政治上の問題という言い方をしてはいけない。公私をきちんとしなさいと孔子が言いました。

孔子の愚痴が入っているなという感じがします。自分が公の場から引退をしているので、何となく胸を反らして言っている感じではなく、ちょっと愚痴だよという感じがします。

今でいけば、アベノミクスに関して色々問題がある。そして消費税を 8%にするのについてどうだろうかという、そういう大きな問題であれば、孔子のような立場にある人、元重要な大臣を勤め上げた人物に対して一言「消費税はいかがでしょうか」と聞いてしかるべきだと。私が呼ばれないのは何事だというのが多少混ざっていて、私は必ず呼ばれるはずだよ、呼ばれないのはどういうことだろうか。言い方を変えると国家のためと言いながら、お前は私的なことに使われているのではないのか？国のことと私的なことが公私混同している国になってしまっているねという言い方です。

先ほどお配りした新聞記事の鹿の話の話を混ぜますと、全国で始めて警備会社が鹿を捕獲するという一連の記事なのですが、見た瞬間に思ったのはアベノミクスの効果がこういうところまで波及しているという事を、暗黙に出したいので県がそういう風に流したのか、または新聞記者が打ち出したと思ったのかが判然としないので、少し確認を取りました。新聞社からすると記者が「全国初のニュースを良くぞ取った」と言われたがためにこういうことをした。県の方はまだ正式に決定していないから「出たくない」と思っているところの中で生まれた記事でした。そこで思ったのは、テレビのアナウンサーの方が「今日は内閣総理大臣が消費税を 5%から 8%に上げるという方針を言う日でございます」とニ

ニュースは流しますけれど「総理大臣がこう言いました」と過去形を発表するのではなく「今日、総理大臣がこういうことを発表する予定でございます」と言うこと事態、ちょっと今のマスメディアのニュースの流し方はおかしいのではないかと感じます。それがそのまま今回の鹿の話にも出ていて「県が契約をしました」ということで載せるのならいざ知らず、「こういう風にする予定でいます」というのは、まだしていないので「これからします」という予告です。予告をこういう風を書くこと自体おかしいのではないのかなと思いました。これは少し公私が混同している、混同と言うより混乱しているという風に記事を読みました。今回は私と関係している事柄だったから、その裏のところまで調べて見たのでそんな気がしました。

今回の論語の章句も公私混同のところ、混同の前に混乱がだいぶ混ざっている。且つ孔子の愚痴が混ざっているから、ぼやけた表現になったのかなという感じがしました。